

認知心理学 II

科目ナンバリング CGS-102
選択 2単位

宮脇 郁

1. 授業の概要(ねらい)

認知心理学とは知的機能の解明を目指す心理学であり、平たく言えば頭のしくみを探る心理学である。私たちは普段の生活の中で、当たり前のように物事を知覚したり、記憶したりしているが、実はこの時、頭の中では複雑なしくみが働いている。この授業では認知心理学のいくつかのトピックについて学び、人間の知的機能がどのようなしくみで成り立っているか探っていく。前半では基礎編として、認知心理学の最重要トピックの1つである知覚を中心に学び、次に注意について学ぶ。後半では、認知心理学の応用分野として、日常的な認知活動、認知工学、ヒューマンエラーなどについて学ぶ。心理学の知見のみでなく、関連領域である神経科学などの知見も適宜取り入れる。講義の他に、ビデオの視聴や簡単な演習、デモ実験などを行うことにより、体験的な理解を目指す。

2. 授業の到達目標

- ・知覚のしくみを説明できる。
- ・日常的な認知のしくみを説明できる。
- ・認知心理学が社会生活にどのように応用されているか説明できる。
- ・自らが日々行っている知的活動に関心を持ち、認知心理学の専門用語で表現できる。

3. 成績評価の方法および基準

試験(80%)、平常点(20%)で評価する。演習や宿題については、翌週以降の授業時にフィードバックを行う。

4. 教科書・参考文献

参考文献

箱田裕司他著 『New Liberal Arts Selection 認知心理学』 有斐閣

5. 準備学修の内容

- ・授業で紹介する参考文献を読んで、人間の知的機能のしくみを理解すること。
- ・復習として、授業で学んだことを自らが日々行っている知的活動に当てはめ、具体例を挙げられるようになること。
- ・LMSによる宿題を提出すること。

6. その他履修上の注意事項

- ・受講希望者多数の場合は、初回授業時に抽選を行う。受講希望者は初回授業に必ず出席すること。
- ・受動的に講義を聴くのではなく、自ら積極的に考えるように努めてほしい。このため、演習や宿題を課すことがある。
- ・心理学で学ぶ概念の多くは、誰もが日々の生活の中で体験することである。したがって学ぶ際には、できるだけ自分自身の経験に当てはめるように努めてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 知覚1(概論、さまざまな錯覚)
- 【第3回】 知覚2(視覚と脳)
- 【第4回】 知覚3(物体認識と空間知覚)
- 【第5回】 知覚4(聴覚、その他の感覚モダリティ)
- 【第6回】 知覚5(感覚統合、まとめ)
- 【第7回】 注意1(注意の基礎研究)
- 【第8回】 注意2(注意が欠如するとき)
- 【第9回】 日常的な認知1(对人的な認知)
- 【第10回】 日常的な認知2(偏見とステレオタイプ)
- 【第11回】 日常的な認知3(その他のトピック)
- 【第12回】 認知心理学の応用1(認知工学)
- 【第13回】 認知心理学の応用2(ヒューマンエラーの種類)
- 【第14回】 認知心理学の応用3(ヒューマンエラーを防ぐには、まとめ)
- 【第15回】 全体のまとめと振り返り